

健康医療科学部 理学療法学科 カリキュラム・マップ

地元いわき市をはじめ、地域社会に貢献できる理学療法士

ディプロマポリシー

1. 広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。
2. 地域に住む人々の健康・医療課題を的確に把握し、疾病や障害を予防することや、疾病や障害から生ずる身体機能および能力の回復・改善を促すことを通じて、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。
3. 健康・医療に関わる課題を解決するために、理学療法の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた理学療法技術を駆使して日常生活活動に関わる基本動作や身体能力の維持・改善に対する支援ができる。
4. 健康・医療に関わる理学療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的かつ能動的な学修ができる。

4年	後期			理学療法セミナーⅡ	卒業研究Ⅱ	見学実習
	前期			理学療法セミナーⅠ	卒業研究Ⅱ	臨床実習Ⅱ
3年	後期			運動器・スポーツ理学療法Ⅱ、神経機能理学療法Ⅱ 内部障害理学療法Ⅱ、発達と理学療法Ⅱ リスク管理論	卒業研究Ⅰ	評価学実習 臨床実習Ⅰ 臨床能力演習
	前期	高次脳機能障害学		内部障害理学療法Ⅰ、発達と理学療法Ⅰ 臨床推論演習、物理療法Ⅱ、徒手理学療法学、義肢学演習 地域理学療法学演習、生活環境学 チーム医療演習	卒業研究Ⅰ 理学療法教育学 理学療法教育学と生涯学習	評価学実習 臨床能力演習
2年	後期	薬理学 救急処置法 小児科学 内科学 公衆衛生学		運動器・スポーツ理学療法Ⅰ、神経機能理学療法Ⅰ、物理療法Ⅰ 装具学演習、日常生活活動分析学、地域理学療法学、日常生活活動分析学演習	臨床教育と管理	地域理学療法学ケアシステム 実習
	前期	病理学 神経内科学 整形外科学 精神医学 精神機能評価学 神経内科学	人体の構造演習 人体の機能演習 運動学演習 感覚運動測定演習	運動療法総論、 基礎理学療法評価学 専門理学療法評価学	科学的根拠に基づく実践	
1年	後期	人体の構造Ⅲ 人体の構造Ⅳ 人体の機能Ⅱ 運動学 人間発達学 英語A2	関節運動測定演習			見学実習
	前期	日本語リテラシー 英語A1 人体の構造Ⅰ 人体の構造Ⅱ 人体の機能Ⅰ 生物統計学		理学療法概論 リハビリテーション概論 社会福祉学概論	フレッシューズセミナー	フレッシューズセミナー

知識

技能

思考力

判断力

表現力

主体性

態度

カリキュラム・ポリシー

1. 1年次、2年次に、全学共通教育科目の初年次教育科目、リテラシー教育科目、一般教養科目、外国語教育科目、健康・スポーツ教育科目を配置し、理学療法士の担い手としてふさわしい幅広い人間的な視野と豊かな教養を身につける。
2. 専門基礎科目として、1、2年次を中心に『人体の構造と機能及び心身の発達』、『疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進』、『保健医療福祉とリハビリテーションの理念』を配置し、必要な基本的知識を修得する。
3. 専門科目は、基礎理学療法学、理学療法管理学、理学療法評価学、理学療法治療学、地域理学療法学、臨床実習の6つのカテゴリーにおいて学修し、身につける力は以下の通りである。

アドミッション・ポリシー

1. 高等学校の教育課程を幅広く修得しており、心身ともに健全である人
2. 理学療法士の社会的使命や役割に興味関心があり、他の人々への思いやりと熱意をもって社会貢献しようとする意欲のある人
3. ものごとに対して主体性を持って、積極的かつ誠実に取り組む姿勢が身についている人
4. 社会の様々な問題に対して、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、考えた結果を説明することができる人
5. 高等学校までの履修内容のうち、「国語」と「英語」を通して、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力の基本的内容を身につけている人
6. 高等学校までの履修内容のうち、理学療法学の基礎として「数学」と「理科」の基本的内容を身につけている人
7. 学校や地域において、グループ学習、課外活動、ボランティア活動などの経験があり、他の人々と協力して課題をやり遂げることができる人